

## (協)日本映画・テレビ美術監督協会が

### クラウドファンディングで羅生門を現代に再現！

～映画美術の世界を覗いてみませんか。世界が認めたあの「羅生門」が現代に蘇る。～

美術監督の一般的地位向上と発展、ならびに、日本映画の質的向上に寄与することを目的とした(協)日本映画・テレビ美術監督協会(本部：東京都新宿区新宿2丁目15-14 パンチョス・タワー2階、代表理事：竹内公一)は、2019年11月29日よりクラウドファンディングプラットフォーム BOOSTER by PARCO&CAMPFIRE にて黒澤明の「羅生門」を現代に蘇らせるプロジェクトを開始いたしました。

#### ■クラウドファンディング概要

日本映画の存在が初めて海外に示した映画「羅生門」(1950年公開)は、黒澤明監督や日本映画が世界的に評価を受けまさに世界の「門」となった映画です。そのビジュアル的な象徴となった門のセットを1/10のミニチュアで「映画のまち調布シネマフェスティバル2020」にて再現、現代に蘇らせます。また同映画祭内にて併設企画として美術監督と美術職能の創造表現スタッフの仕事を展示、紹介します。

#### ■クラウドファンディング参加方法

クラウドファンディングプラットフォーム

「BOOSTER by PARCO&CAMPFIRE」該当ページよりお申込みください。

#### ▼○クラウドファンディングページ○

<https://camp-fire.jp/projects/view/201639>

#### ■クラウドファンディング達成後の流れ

「映画のまち調布シネマフェスティバル2020」にて羅生門再現を中心とした各種展示・ワークショップを行います。

○展示詳細(予定)

・1F エントランスホール・・・2/29(土)～3/8(日)

1/10スケールの「羅生門」、実寸大の門柱の展示

・1F むらさきホール・・・・・・3/4(水)～3/8(日)

映画のまち調布シネマフェスティバル2020が開催する

セット展示とワークショップ+美術監督協会によるコラボレーション

・2F 北ギャラリー・・・・・・2/29(土)～3/8(日)

映画美術における各職能の美術表現を記録した映像展示や実物展示

**コメントの追加 [A1]:** 会社名の後に、所在地と代表名を書きましょう。

本文で略称などを使用する場合には、なんと呼ぶか説明を添えましょう。

**コメントの追加 [A2]:** プレスリリースは結論から！が基本です。

リード文だけを読んでも内容がわかるよう、いつ、どこのプラットフォームでどんなプロジェクトを開始したかが簡潔にわかるようにまとめてください。

・ 8F 映像シアター・・・・・・・・2/29 (土) ～3/3 (火)

第 19 期 Part 2 「映画スタッフ塾」

開催～映画 4 作品上映及び解説、講義

・ 映画のまち調布シネマフェスティバル 2020

「映画のまち調布」の市民と映画技術者が選ぶ日本雄一の映画賞。  
投票でノミネートされた作品の中から、各部門専門職（技術者など）で構成された選考委員会の選考のもと、受賞者を決定する映画賞「映画のまちの調布賞」の授賞式を開催します。

・ 公式 HP

<https://chofucinemafestival.com>

#### ■会社概要

商号 : (協)日本映画・テレビ美術監督協会  
代表者 : 代表理事 竹内公一  
所在地 : 〒160-0022  
東京都新宿区新宿 2 丁目 1 5 - 1 4 パンチョス・タワー 2 階  
設立 : 1939 年 4 月  
事業内容 : 美術監督の一般的地位向上と発展、ならびに、日本映画の質的向上に寄与することを目的として運営。  
URL : <https://www.apdj.or.jp/>

#### ■本件に関するお問い合わせ先

企業名 : 協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会  
担当者名 : 福澤勝広 今井高司 山下修侍  
TEL : 03-3353-4660  
Email : [info@apdj.or.jp](mailto:info@apdj.or.jp)

